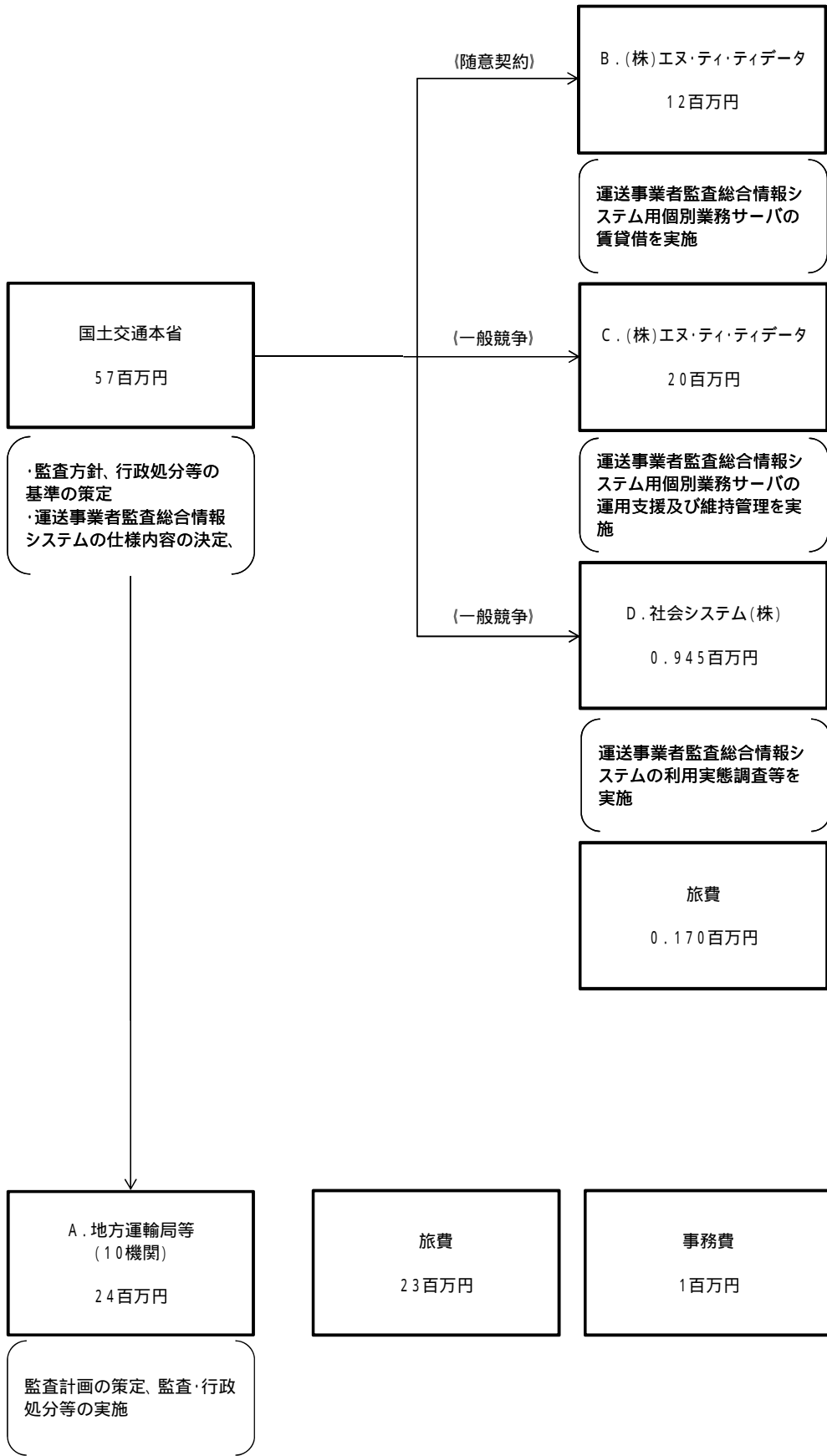


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	ITを活用した運送事業に対する監査体制の強化		担当部局	自動車局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	安全政策課		課長	三上 哲史
会計区分	一般会計		施策名	5(14)公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路運送法第40条・第43条・第79条の12・第94条、貨物自動車運送事業法第26条、第33条、第35条、第36条、第60条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自動車運送事業者情報、運行管理者・整備管理者情報、監査・処分情報、事故情報、警察・労基通知情報等を一元的に管理する「運送事業者監査総合情報システム」を活用して、自動車運送事業者への効率的かつ効果的な監査を実施し、事業用自動車に係る事故の未然防止、事故の削減を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「運送事業者監査総合情報システム」用の個別業務サーバを借用するとともに、当該システムの運用にあたり、サーバ、ネットワーク機器、ソフトウェア及び業務プログラムの安定稼働のための運用支援及び維持管理を行っている。また、当該システムに格納している自動車運送事業の各種情報を利用して、自動車運送事業者に対する効率的かつ効果的な監査を実施し、監査の結果、法令違反が判明した場合には、文書警告、自動車の使用停止、事業停止、許可取消等の厳正な行政処分を行うとともに、改善について命令等の措置を講じている。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	103	89	68	64	115
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	103	89	68	64	115
	執行額	94	63	57	-	-	
	執行率(%)	91.2%	70.8%	83.8%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年	21年	22年	目標値(25年)
	事業用自動車が第1当事者の交通事故における死者数 事業用自動車が第1当事者の交通事故における人身事故件数 事業用自動車による飲酒運転に係る道路交通法違反取締件数 初期値: 513人(20年)、56,295人(20年)、287人(20年)	成果実績	人	513 56,295 287	468 51,510 207	490 51,061 177	380 43,000 0
		達成度	%	0 0 0	34 36 28	17 39 38	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自動車運送事業者に対する監査実施件数 自動車運送事業者に対する行政処分等件数	活動実績	件	11,546 3,207	13,649 3,644	12,768 3,256	-
		(当初見込み)	件	11,016	12,352	13,807	13,688
単位当たりコスト	4.5(千円/件)		算出根拠	H22年度自動車運送事業者監査実施経費(57,557千円)/H22年度監査実施件数(12,768件)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	32	28	執行状況等を踏まえた要求額としたため。			
	情報処理業務庁費	24	77	運送事業者監査総合情報システムの更新のため。			
	公共交通等安全対策調査費	0.34	0.34				
	電子計算機借料	8	9	運送事業者監査総合情報システムの更新のため。			
	計	64	115				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>自動車運送事業者に対する監査については、運送事業者監査総合情報システムを活用するほか、関係機関とも連携しつつ、効率的かつ効果的な監査等の実施に努めているところ。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 運送事業者監査総合情報システムについては、来年度に更新を行う必要があり、本システムの更新にあたり、国土交通本省、各地方運輸局での業務におけるシステムの利用実態の調査、システムの構成整理、システムのコスト分析、現状の課題点の整理等を行い、システムの方方向性とコスト削減方策の検討を行ったところ。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		適切に業務を遂行するとともに、次期システムについて機能を阻害することなくコスト面にも配慮したシステム構成や保守体制に見直しを図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>次期システムについては、現行システムの機能のうち利用状況が極端に低いものについて削減を行うことにより開発コストの縮減を図ることとした。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.関東運輸局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	職員旅費	5			
事務費	事務費	0			
計		5	計		0
B.(株)エヌ・ティ・ティデータ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	サーバの賃貸借	12			
計		12	計		0
C.(株)エヌ・ティ・ティデータ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	サーバの運用支援及び維持管理	20			
計		20	計		0
D.社会システム(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	システムの利用実態調査等	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.地方運輸局等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東運輸局	監査計画の策定、監査・行政処分等の実施	5	-	-
2	近畿運輸局	"	4	-	-
3	東北運輸局	"	3	-	-
4	中国運輸局	"	3	-	-
5	中部運輸局	"	2	-	-
6	九州運輸局	"	2	-	-
7	北陸信越運輸局	"	2	-	-
8	四国運輸局	"	2	-	-
9	北海道運輸局	"	1	-	-
10	神戸運輸監理部	"	1	-	-